

環境保全行動
自動車使用管理実施 報告提出書

2024 年 7 月 26 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所

〒 160-8575

東京都新宿区四谷本塩町5番1号

氏 名

雪印メグミルク株式会社

(代表者名)

代表取締役社長 佐藤 雅俊

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例 第 1 3 条第 4 項 の規定により、環境保全行動
第 2 3 条第 3 項 自動車使用管理実施
報告書を提出します。

報 告 期 間		2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日					
事業 の 規 模	従業員数	274	人	原油換算した		3486.5	kl
	使用床面積	25975.97	m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	3	事業所	自動車使用台数		34	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂	メタン	N ₂ O	HFC		
		7590 t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂		
	非エネルギー起源CO ₂	PFC	SF ₆	NF ₃			
	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂	t-CO ₂			
報告書の担当部署		担当部署名					
		担当者氏名					
		電話/FAX					
		電子メールアドレス					
計画書提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				☒ 第 1 項 ☐ 第 3 項	
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				☐ 第 1 項 ☒ 第 2 項	
計画期間		2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理実施 報告書		別添のとおり					
備 考		製品の小型化等による生産数量低下により、原単位分母を生産量から売上高に変更。原 単位の単位はkl/tからkl/億円に変更。基準年と前年報告値を修正。					

注 1 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、報告に係る年度の 3 月 31 日現在で記入してください。

2 事業所数は、報告年度に係る年度の 3 月 31 日現在の札幌市内事業所数を記入してください。

3 燃料・熱・電気の合計量は、報告に係る年度に使用した量を原油換算して記入してください。

4 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第 4 条に規定する方法により行ってください。

5 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第 2 条第 5 項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

6 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動報告書
自動車使用管理実施報告書

1 行動目標の達成状況

【計画期間】

2022 年 4 月 1 日 ～ 2025 年 3 月 31 日

【報告期間】

2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日

行動目標	基準数値	目標削減率	2022年度結果			2023年度結果			2024年度結果		
			実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果	実績数値	削減率	結果
CO2排出量の削減 (原油換算値、原単位)	21.67 kl/億円	1 %	20.22 kl/億円	7 %	○	19.14 kl/億円	12 %	○			
車両の燃料使用の効率化(維持目標)	0.0809 l/km	0 %	0.0753 l/km	7 %	○	0.0775 l/km	4 %	○			
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				
		%		%			%				

- 注 1 実績数値が基準数値よりも増加した場合は、削減率の数値の前に▲を記入してください。
- 2 結果の欄には、以下のいずれかを記入してください。
- ：目標削減率を達成
- △：実績数値が基準数値よりも削減されたが、目標削減率は未達成
- ×：実績数値が基準数値よりも増加

2 行動目標達成・未達成の理由

行動目標	結果	理 由
CO2排出量の削減(原油換算値、原単位)	○	2023年度より、全社のエネルギー原単位算出方法として、原単位分母を生産量(t)から売上高(億円)に変更した。この結果、基準数値比で12%向上した。
車両の燃料使用の効率化(維持目標)	○	走行距離は前年比16.7%増加、ガソリン使用量も前年比20.1%増加したが、効率的な運転により基準数値比で4%向上した。